

# 令和 4 年度 生涯学習事業計画書

春日井市・春日井市教育委員会



## 目 次

I	令和4年度生涯学習事業予算	1
II	文化・生涯学習課	2
III	道風記念館	5
IV	公民館・ふれあいセンター	7
V	青年の家	8
VI	スポーツ課	9
VII	図書館	14
VIII	文化財課	17
IX	野外教育センター	20



# I 令和4年度生涯学習事業予算

## 1 令和4年度一般会計予算

(単位：千円、%)

項目	令和4年度 予算額	令和3年度 予算額	対前年度		総額に 占める 割合
			増減額	増減比	
一般会計総額	113,620,000	109,400,000	4,220,000	3.9	100.0
教育費	11,608,549	11,369,672	238,877	2.1	10.2
社会教育費	3,649,086	3,628,263	20,823	0.6	3.2

## 2 令和4年度生涯学習事業予算

※社会教育費から給料及び職員手当等を除き、総務費のふれあいセンター事業を含めた額

(単位：千円、%)

項目	令和4年度 予算額	令和3年度 予算額	対前年度		合計に 占める 割合
			増減額	増減比	
社会教育事業	25,283	26,593	△1,310	△4.9	0.8
公民館事業	71,516	121,172	△49,656	△41.0	2.2
ふれあいセンター事業	172,172	302,136	△129,964	△43.0	5.3
青年の家事業	24,513	16,196	8,317	51.4	0.7
社会体育事業	2,603,869	2,566,297	37,572	1.5	79.6
文化財事業	44,412	55,498	△11,086	△20.0	1.4
図書館事業	76,017	72,973	3,044	4.2	2.3
野外教育センター事業	252,964	223,046	29,918	13.4	7.7
合計	3,270,746	3,383,911	△113,165	△3.3	

※上記各事業の予算額は、次の各事業に対応する各所属が所管する事業実施等に関する額。「社会教育事業」：文化・生涯学習課、「公民館事業」：各公民館、「ふれあいセンター事業」：各ふれあいセンター及び東部市民センター、「青年の家事業」：青年の家、「社会体育事業」：スポーツ課、「文化財事業」：文化財課及び道風記念館、「図書館事業」：図書館、「野外教育センター事業」：少年自然の家、都市緑化植物園及び細野キャンプ場。

## Ⅱ 文化・生涯学習課

### 【推進目標】

- 第2次春日井市生涯学習推進計画に基づき、生涯学習施策を総合的かつ計画的に推進する。また、計画5年目となる令和4年度は、令和3年度に実施した市民アンケート調査を基に中間見直しを行う。
- 幅広い層の生涯学習ニーズに応えるため学習環境を整備し、より充実した学習内容、機会を提供できるよう、休日・夜間の講座や託児付き講座を実施するとともに、対面講座に加えてオンラインによる講座を開催する。
- 講師発掘・登用事業で採用された講師や生涯学習情報サイトに登録がある知識・技能・経験を持った人材が幅広く活躍できるよう、各施設と調整を図る。

### 1 社会教育委員

[予算額 584千円 (対前年度比42.8%増)]

社会教育、生涯学習全般について、指導・助言を行う。

#### 《委員構成》

学校教育関係者	2名		
社会教育関係者	7名		
学識経験者等	6名	計15名	

### 2 生涯学習指導員

[予算額 9,047千円 ※人件費 (対前年度比0.8%減)]

生涯学習活動への指導・助言や協力を行うとともに、市民からの生涯学習に係る相談を受ける。文化・生涯学習課内2名、松原学習センター内3名の計5名。

### 3 かすがい熟年大学

[予算額 1,862千円 (対前年度比3.6%減)]

高齢者が充実した余暇時間を過ごし、学習を通じた仲間づくりや健康で生きがいのある生活を送ることができるようにするため、60歳以上の市民を対象とした講座を開催する。

#### 《実施概要》

対象	市内在住・在勤・在学の60歳以上の人			
定員	生活コース	150人	歴史コース	150人
	芸術文化コース	150人	文学コース	100人
	健康科学コース	100人		
講座回数	各コース年間15回 (開講式、閉講式を含む)			

#### 4 成人式

[予算額 5,044千円 (対前年度比28.7%減)]

将来を担う二十歳の市民を対象に式典等を開催する。

##### 《開催概要》

令和5年春日井市成人式 (仮称)

開催日：1月9日 (月・祝)

会場：総合体育館

対象：平成14年4月2日～平成15年4月1日の出生者

#### 5 ふれあい教育セミナー

[予算額 5,240千円 (対前年度比17.5%減)]

学校等に通う子どもの保護者等が家庭教育の意義と役割を学び、社会性や思いやりの心など豊かな人間性を育む「ふれあい教育セミナー」を補助することにより、家庭教育力及び地域教育力の向上を図る。

#### 6 生涯学習情報発信事業

[予算額 3,918千円 (対前年度比増減なし)]

##### (1) 生涯学習情報サイト

意欲・技能のある方を講師として登録し情報提供するほか、各施設で活動する団体の情報や講座情報を、インターネットを通じて提供する。

##### (2) 講座情報発信

市内施設で相互に協力し、実施講座のPRを行う。また、民間の地域情報誌に市民講座の情報を年2回掲載する。

#### 7 講師発掘・登用事業

[予算額 128千円 (対前年比11.1%減)]

市民が学習で得た知識や技術を広く生かし、「学ぶ」だけでなく、「教える」楽しみや生きがいを感じることができる場として、さまざまな知識や技術を持った市民を募集し、応募者自らが企画した講座を開催する。

応募講座の内容によっては、若い世代も参加しやすいよう託児付き講座として実施する。

#### 8 大学連携講座

[予算額 643千円 (対前年度比6.5%減)]

大学が持つ優れた人材と設備を活用し、高度な内容の講座を実施することにより、市民の多様化する学習ニーズに応える。幅広い世代に向けて実

施するため、子ども向けや中高生向けの講座を実施するとともに、オンラインによる講座も実施する。

## 9 学校施設開放

〔予算額 なし〕

地域住民の生涯学習活動やコミュニティ活動の推進を図るため、白山小学校、牛山小学校、石尾台小学校の余裕教室を地域の団体に開放する。

## 10 松原学習センター管理

〔予算額 942千円（対前年度比41.0%増）〕

地域住民の生涯学習活動やコミュニティ活動の推進を図るため、小学校の余裕教室を利用した施設の貸館や生涯学習指導員による講座を実施する。

## 11 施設予約システム

〔予算額 3,583千円（対前年度比11.6%増）〕

愛知県内の市町が共同で利用する公共施設の予約システムで、公共施設の空き状況の検索や利用予約など、インターネットを通じて行うことができるもの。

《実施概要》

設置施設：公民館、ふれあいセンター、総合体育館など22施設

※令和4年10月から保健センターにも導入する。

## 12 春日井市出前講座

〔予算額 202千円（対前年度比増減なし）〕

身近な場所での学習機会の充実を図るため、地域の公民館や集会施設に市職員や生涯学習情報サイトに登録のある講師を派遣し、生涯学習講座を開催する。

## 13 学習室開放（スタディルーム）

〔予算額 なし〕

公民館・ふれあいセンター等の施設の空き集会室等を有効活用し、学習室として無料で開放することで、中高生の自主学習を支援する。

《実施概要》

実施施設：中央公民館、知多公民館、鷹来公民館、坂下公民館、味美ふれあいセンター、高蔵寺ふれあいセンター、南部ふれあ

いセンター、西部ふれあいセンター、東部市民センター、  
青少年女性センター

利用可能日：学校の長期休業期間及び土曜日、日曜日、祝日の午前9時から午後5時まで

(施設の休館日及び開放できる部屋がない日を除く。)

利用できる者：市内在住、在学の中学生、高校生（小学生も利用可能）

#### 14 生涯学習推進計画改定（中間見直し）

〔予算額 2,420千円（対前年度比46.7%増）〕

第2次春日井市生涯学習推進計画（計画期間：平成30年度から令和9年度）について、令和3年度に実施した市民アンケート調査に基づき計画の中間見直しを行う。

#### 15 学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業（NPO法人連携事業）

〔予算額 なし〕

文部科学省の委託事業の採択を受けて、NPO法人と行政、関係団体が連携し、学校を卒業した後の障がい者の学び、交流の場の創出についての実践研究を行う。

#### 16 一般管理、負担金、補助及び交付金

〔予算額 717千円（対前年度比112.8%増）〕

生涯学習施策の推進に係る研修等の受講、愛知県公民館連合会を始めとした各関係団体への参加、情報交換等を行う。

また、オンラインでの講座を実施する際に必要なパソコンなどの機器の購入を行う。

### Ⅲ 道風記念館

#### 【推進目標】

- 「書のまち春日井」を全国に発信し、市内に一層浸透させるため、書作品の展示、講座などの事業の実施により、書に対する理解や鑑賞力を高める。

#### 1 道風記念館運営協議会委員

〔予算額 66千円（対前年度増減なし）〕

道風記念館の運営に関し、調査及び審議を行う。

《委員構成》

書家	5名	
学識経験者	3名	
小野道風公遺跡保存会長	1名	計9名

2 道風記念館事業

[予算額 8,719千円 (対前年度比7.3%減)]

(1) 展示

① 館蔵品展

ア 常設展示

- 小野道風の業績などの解説パネル (通年)
- 道風を中心に平安時代の書の複製・木版本など (通年)

イ 館蔵品展

- 館蔵品の中からテーマを設定して展示 (年間3回開催)

② 企画展

ア 企画展「おののとうふう」

子ども向けにわかりやすく小野道風を紹介する。

開催日 7月15日(金)～9月4日(日)

イ 特別展「比田井南谷～線の芸術～」

前衛書の先駆者である比田井南谷の書業を紹介する。

開催日 9月9日(金)～10月16日(日)

ウ 企画展「松下芝堂の書」

松下芝堂の代表作を展示する。

開催日 10月21日(金)～11月20日(日)

(2) 道風記念館講座

書に関する内容の講座を開催する。

(3) 臨書作品展

第41回道風の書臨書作品展

対象作品	一般の部	小野道風筆屏風土代 伝小野道風筆小島切
	高校生の部	小野道風筆屏風土代 伝小野道風筆継色紙

応募締切 10月21日(金)

審査日 11月6日(日)

展覧会 1月14日(土)～29日(日)

表彰式 1月14日(土)

(4) 「道風記念館だより」の発行

小野道風に関する研究発表や小野道風に関する資料の紹介などを行う。

3 道風記念館施設管理

[予算額 9,357千円 (対前年度比56.1%減)]

施設を安全・快適に利用できるよう設備の定期点検や修繕等を実施する。

## IV 公民館・ふれあいセンター

### 【推進目標】

- 学びにつながるきっかけとなる講座やライフステージに応じた学習機会、現代的・社会的課題や多様なニーズに対応した学習機会の充実を図る。
- 働く世代や子育て世代など幅広い世代の人が参加しやすいよう、休日・夜間の講座や託児付き講座を開催するとともに、オンラインによる講座も実施する。
- オンライン講座の実施や集会室等の利用者の利便性向上のため、各施設の1室にWi-Fi環境を整備する。

### 1 公民館・ふれあいセンター等講座

〔予算額 13,597千円（対前年度比6.6%増）〕

#### (1) 市民講座

年間を2期（前期・後期）に分け、少子高齢化・情報化・国際化等による多様な学習要求に応えられる柔軟な学習プログラムを立案し、より多くの市民に学習の機会を提供する。また、通年型のアラカルト講座も開催する。

#### (2) 短期講座

市民講座を補うものとして、季節・時期にあった短期の講座・教室などを開催する。また、オンラインによる講座も開催する。

#### (3) 子どもの部屋

アニメ映画や紙芝居・人形劇等、子どもを対象に実施し、青少年の健全な育成を図る。

#### (4) 展示

趣味などの収集品、講座受講生や活動団体の作品をロビー等に展示し、広く市民に紹介する。

#### (5) 公民館まつり

地域住民に親しまれる「みんなの公民館」として、公民館クラブ等の成果を発表し交流を図る。

### 2 生涯学習活動団体の指導、育成

〔予算額 なし〕

市民が自主的に行う生涯学習活動を支援し、地域社会のコミュニケーション

ヨンの場づくりに寄与するとともに、生涯学習の成果を活かしたまちづくりを推進するため、生涯学習活動を行う団体・クラブを指導、育成する。

### 3 各公民館・ふれあいセンター等小工事

〔予算額 30,165千円（対前年度比85.4%減）〕

施設の老朽化対策や快適な環境整備のため、南部ふれあいセンター非常用発電設備更新工事、高蔵寺ふれあいセンター多目的ホール舞台装置改修工事などを実施するとともに、令和6年度の鷹来公民館大規模改修工事に向け、改修に係る基本設計を行う。

また、オンライン講座の実施や集会室等の利用者の利便性の向上を図るため、各施設の1室にWi-Fi環境を整備する。

### 4 各公民館・ふれあいセンター等施設管理

〔予算額 141,135千円（対前年度比30.6%減）〕

各公民館等において、施設を安全・快適に利用できるよう設備の定期点検や修繕等を実施する。

## V 青年の家

### 【推進目標】

○施設の特色を生かした音楽に親しめる場として学習環境を整備し、主に音楽を中心とした講座を実施する。

### 1 青年の家講座

〔予算額 634千円（対前年度比13.2%増）〕

社会生活に必要な教養を高め、施設の特徴を活かした講座を開設し、青少年の健全育成と音楽の振興を図る。

### 2 青年の家小工事

〔予算額 3,500千円（対前年度比皆増）〕

施設の老朽化対策や快適な環境整備のため、非常放送設備更新工事を実施する。

### 3 青年の家施設管理

〔予算額 20,379千円（対前年度比30.3%増）〕

施設を安全・快適に利用できるよう設備の定期点検や修繕等を実施する。  
また、照明をLED化し省エネルギー化を図る。

## VI スポーツ課

### 【推進目標】

- 春日井市スポーツ振興基本方針に掲げる3つの方針を目標とし、地域における生涯スポーツの取り組みを支援し、競技スポーツの振興やレクリエーションスポーツの普及を積極的に進める。

### ○生涯スポーツの推進

#### 1 新春春日井マラソン大会

〔予算額 11,500千円（対前年度増減なし）〕

市民が楽しみながら体力づくりと健康増進を図り、家族や参加者相互の交流を深めることを目的に、新春を飾るスポーツの祭典として開催する。

#### 《開催概要》

開催日 1月8日（日）

場 所 総合体育館及び周辺道路

#### 2 市民体育大会

〔予算額 3,209千円（対前年度増減なし）〕

市民に広くスポーツに接する機会を提供し、健康の増進・体力の向上を目指しながらスポーツ人口の拡大を図るため、各種目の大会を春日井市スポーツ協会に委託し開催する。

#### 《開催概要》

開催期間 4月1日（金）～3月31日（金）

場 所 総合体育館始めスポーツ施設等

種 目 軟式野球、剣道を始めとする39種目

#### 3 高校生スポーツ大会

〔予算額 1,350千円（対前年度比2.2%減）〕

市内9高等学校間の交流を深め、体力及び技術の向上を図る。

#### 《開催概要》

開催期間 6月18日（土）～8月7日（日）

場 所 総合体育館ほか市内スポーツ施設及び高等学校

#### 4 レクスポ普及・振興事業

[予算額 1,000千円 (対前年度増減なし)]

- (1) レクリエーションスポーツ祭  
生涯スポーツの普及振興として、いろいろなレクリエーションスポーツを行い、家族や地域の人達が集い、体力の向上と地域社会の親睦を図る。

《開催概要》

開催日 6月12日(日)

場 所 総合体育館

#### 5 スポーツ賞表彰・全国大会等支援

[予算額 1,548千円 (対前年度比1.4%増)]

- (1) 春日井市スポーツ賞表彰式  
国際スポーツ大会等で優秀な成績をおさめたスポーツ選手や、その指導者の功績を広く顕彰する。

《開催概要》

開催日 3月21日(火・祝)

場 所 文化フォーラム春日井

- (2) 全日本女子学生剣道優勝大会  
全国の各地区代表の56大学が集結し、日本一を目指す。女子学生剣道の発展と健全育成を図る。

《開催概要》

開催日 11月13日(日)

場 所 総合体育館

- (3) 全国高等学校剣道選抜大会  
全国都道府県代表の男女各64校が集結し、日本一を目指す。高校剣道の発展と健全育成を図る。

《開催概要》

開催期間 3月26日(日)～28日(火)

場 所 総合体育館

- (4) 後援に係る賞の交付

#### 6 スポーツ表彰審査会

[予算額 30千円 (対前年度増減なし)]

国際スポーツ大会等で優秀な成績をおさめたスポーツ選手や、その指導者の功績を広く顕彰するための表彰を公正かつ適正に行うため、表彰の適否の審査を行う。

《委員構成》

教育委員会委員	1名	
社会教育委員	1名	
市内小中学校長の代表	1名	
市内高等学校長の代表	1名	
スポーツ協会の役員	2名	
スポーツ推進委員	1名	計7名

7 スポーツ応援事業

〔予算額 7,410千円（対前年度比0.8%減）〕

市を広くPRするとともに参加者と市民の交流が図られる全国規模のスポーツ大会の開催及び国際的又は全国的規模で開催されるスポーツ大会への市民の出場者に対し、市が文化スポーツ応援団となって支援を行う。

8 スポーツ協会補助

〔予算額 10,000千円（対前年度増減なし）〕

スポーツ協会の運営及び加盟団体40団体を育成し、各競技団体が行うスポーツ教室等を助成し、スポーツの振興を図る。

また、学校区体育振興会18団体を育成し、地域スポーツの振興を図る。

9 スポーツ振興基金積立金

〔予算額 3千円（対前年度比75.0%減）〕

広く市民のスポーツの振興と健康の保持増進を図るため、基金を設置。

10 公益財団法人春日井市スポーツ・ふれあい財団運営費補助金

〔予算額 702,067千円（対前年度比4.2%増）〕

財団が事業を進めていくために必要な経費を補助し、その運営の充実及び住民福祉の向上を図る。

○市制70周年継承事業

・ラジオ体操事業

・ボールゲームフェスタ

○スポーレ春日井1周年記念事業

・ラグビーフェスティバル

11 オリンピック・パラリンピック関連事業費

〔予算額 なし（対前年度比皆減）〕

※令和3年度で事業完了済

## ○コミュニティスポーツの推進

### 12 スポーツ推進委員

[予算額 2,845千円 (対前年度比2.8%減)]

地域のスポーツ大会、スポーツ教室等の実施に関する連絡調整及び指導・助言や健康・体力づくりの実技指導を行い、地域スポーツの推進を図る。

《スポーツ推進委員》69名 (令和4年2月1日現在)

### 13 学校区体育振興

[予算額 114千円 (対前年度比増減なし)]

- (1) 学校区体育振興会交流大会  
各学校区体育振興会が集まり、親睦と交流を深める。

《開催概要》

開催日 11月20日 (日)

場 所 総合体育館

## ○スポーツ施設の整備充実

### 14 学校体育施設開放

[予算額 1,805千円 (対前年度比0.3%増)]

市立小中学校及び県立学校の体育施設を、学校教育に支障のない範囲で地域住民等に開放することにより、市民の健康の保持増進・体力の向上を図る。

《事業概要》

- (1) 小中学校体育施設開放
- |      |     |     |
|------|-----|-----|
| 小中学校 | 体育館 | 52校 |
| 中学校  | 武道場 | 15校 |
- (2) 県立学校体育施設開放
- |        |    |    |
|--------|----|----|
| 市内県立学校 | 校庭 | 8校 |
|--------|----|----|

### 15 総合体育館等体育施設管理費

[予算額 499,815千円 (対前年度比4.0%増)]

総合体育館を始め、温水プール、市民球場、落合公園体育館及び朝宮公園において、安全で安心してスポーツに親しむことができるよう施設管理を行う。

### 16 総合体育館等体育施設小工事

[予算額 200,000千円 (対前年度比23.2%増)]

総合体育館等の工事を施工し、施設の整備充実を図るとともに、安全で安心

してスポーツに親しむことができる施設整備を推進する。

《主な工事等》

- (1) 総合体育館非常用発電機更新工事
- (2) 総合体育館自動制御設備中央監視装置リモート盤取替工事
- (3) 温水プール外壁その他改修工事

17 屋外体育施設管理費

〔予算額 49,074千円（対前年度比9.1%増）〕

地域におけるスポーツ活動の場であるグラウンド等の維持管理を行う。

18 屋外体育施設小工事

〔予算額 13,100千円（対前年度比75.3%減）〕

地域におけるスポーツ活動の場であるグラウンド等の整備を行う。

《実施工事》

- (1) 白山運動広場トイレ改修工事

19 朝宮公園整備

〔予算額 1,094,310千円（対前年度比0.6%減）〕

豊かな自然環境を保全しつつ、スポーツや健康づくりの機能を充実させ、公園全体の魅力をさらに高めるため、陸上競技場を始めとした施設の整備を行う。

《事業概要》

- (1) 第2期整備（多目的広場・テニスコート整備、野球場改修等）

20 アジア競技大会関連事業【新規】

〔予算額 3,678千円（対前年度比皆増）〕

第20回アジア競技大会の開催にあたり、競技会場となる総合体育館及び温水プールの改修工事、関連事業等を実施する。

《事業概要》

- (1) 総合体育館等改修基本設計
- (2) 第19回アジア競技大会等視察

○スポーツ振興管理

21 振興管理

〔予算額 1,011千円（対前年度比1.8%増）〕

スポーツの普及・振興の管理業務を行う。

## Ⅶ 図書館

### 【推進目標】

- 誰もが利用しやすい、何度でも足を運びたくなるような図書館を目指す。
- 「第4次春日井市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもが本に親しみ、生涯にわたり読書活動を継続していけるよう、読書に親しむきっかけづくりや読書環境の整備を推進、充実する。

### 1 図書館協議会委員

[予算額 117千円 (対前年度比増減なし)]

館長の諮問に応ずるとともに、図書館奉仕について意見を述べる。

#### 《委員構成》

学校教育関係者 2名  
社会教育関係者 4名  
家庭教育関係者 2名  
学識経験者等 2名                      計 10名

### 2 図書購入

[予算額 40,000千円 (対前年度比7.0%減)]

#### (1) 図書

館室別	令和4年度購入
図書館	8,000冊
高蔵寺まなびと交流センター図書館	4,300冊
他9図書室	4,500冊
計	16,800冊

#### (2) その他の図書資料

- ① 紙芝居 200巻
- ② 新聞 (図書館27紙、高蔵寺まなびと交流センター図書館12紙)
- ③ 雑誌 (図書館212誌、高蔵寺まなびと交流センター図書館103誌)
- ④ 官報、加除資料等

### 3 読書啓発

[予算額 3,344千円 (対前年度比1.7%増)]

- (1) 読書手帳の配付  
小学生を対象に、自分の読書履歴や感想を記載できる読書手帳を図書館及び図書室で配付する。
- (2) ブックスタート事業  
4か月児健康診査時に保護者に絵本等を手渡し、読み聞かせの大切さや、本に親しむ家庭環境の重要性を啓発する。
- (3) 赤ちゃんのためのおはなし会  
乳児と保護者を対象に、図書館及び図書室において、読み聞かせを行い、乳児期の家庭における読書活動の大切さを啓発する。
- (4) 紙芝居とお話を聞く会  
幼児・児童を対象に、図書館及び図書室において、図書館ボランティアの協力により読み聞かせを行う。
- (5) すくすく読み聞かせ会  
1歳6か月から就園前までの幼児を対象に、図書館において、図書館ボランティアの協力により読み聞かせを行う。
- (6) 読書週間事業  
春の「こどもの読書週間」と秋の「読書週間」に合わせて関連事業を実施する。
- (7) 小中学校読書感想文・感想画コンクール  
読書によって得た感動を文章や絵で表現することをおして、読書力・表現力・創造力を養うために実施する。
- (8) 小中学生向け講座  
図書館や読書への興味や関心を高めるため、本の貸出業務や修理などの司書業務を体験する「子ども司書養成講座」や、読書をおして、自分の目指す未来について考えるきっかけづくりとなる「10代の未来さがし講座」を開催する。
- (9) 図書館ボランティア養成講座  
図書館等において読み聞かせ事業を推進するため、ボランティアの希望者に対し、必要な知識や心構え、読み聞かせの技術等を習得する養成講座を開催する。

### 4 障がい者図書サービス

[予算額 688千円 (対前年度比3.1%減)]

- (1) 図書等の無料郵送貸出

心身の障がい等で来館が著しく困難な方や視覚障がい者を対象に、図書及び録音・点字図書の無料郵送貸出をする。

- (2) 対面読書  
視覚障がい者を対象に、音訳ボランティアが図書館資料を対面で読む。
- (3) 録音図書、点字図書の製作  
視覚障がい者のための録音図書及び点字図書を製作する。
- (4) 音訳技術講習会  
録音図書製作のボランティアを養成するため、講習会を開催する。
- (5) 音訳デジタル録音技術講習会  
録音図書をデジタルで製作するボランティアを養成するため、講習会を開催する。

## 5 図書館管理

[予算額 31,868千円 (対前年度比23.2%増)]

- (1) 図書館運営
  - ① 図書館事業  
図書資料の閲覧、貸出、巡回搬送、読書相談、読書啓発事業、障がい者図書サービス事業等、総合的な図書館事業を実施する。
  - ② 各図書館・図書室との連携  
高蔵寺まなびと交流センター図書館及び味美ふれあいセンター始め9図書室と、窓口業務における問題点・改善事例について情報を共有し、サービス向上を図る。
  - ③ 図書館ホームページ  
利用案内、図書検索、インターネット予約サービス、他の図書館とのリンク等のサービスを提供する。
- (2) 図書館ボランティアとの協働  
図書館ボランティアと連携しながら、返却図書の排架、書架整理、絵本の読み聞かせ、対面読書、デイジー図書・点字図書の製作等を実施する。
- (3) その他
  - ① 読み継がれる絵本コーナー  
読書に親しむ機会の充実のため、子どもや子育て世代向けに、世代を超えて親しまれている名作絵本などを紹介する。
  - ② 企画展示  
読書の楽しさや本への興味を促すため、様々なテーマに合わせた資料を展示する。
  - ③ サポート展示「さぽてん！」  
市の事業のPRのため、各課の事業を周知するとともに、関連した図書館資料を展示する。

- ④ 本の福袋、ブラインドブック  
本との出会いを提供するため、テーマに合わせて選書した本2、3冊を袋詰めした本の福袋や、本の表紙が見えないように包み、その本から抜粋した1行を紹介したブラインドブックを貸出する。
- ⑤ 幼稚園・保育園巡回図書  
子どもたちが多くの本に出会えるよう、市内の幼稚園・保育園等を定期的に巡回し、貸出用コンテナに詰めた絵本、児童書、紙芝居などを貸出する。
- ⑥ 図書館年報、図書館だよりを発行する。

## VIII 文化財課

### 【推進目標】

- 市内に残る史跡等の貴重な文化財や地域の伝統的な民俗文化を保護・保存し、次世代に継承する取り組みを推進するとともに、公開・活用をすることにより、市民が文化財に親しみ、文化財愛護意識を高めるようにする。

### 1 文化財保護審議会委員

〔予算額 117千円（対前年度比33.5%減）〕

文化財の保存及び活用に関し、調査及び審議を行う。

#### 《委員構成》

学識経験者 8名

### 2 内津文化財祭

〔予算額 825千円（対前年度比9.6%増）〕

内々神社が所蔵する文化財を公開し、文化財保護への理解を深め啓発を図る。

#### 《開催概要》

開催日 5月8日（日）

場 所 内々神社

### 3 ハニワまつり

〔予算額 5,135千円（対前年度比3.6%増）〕

市民が制作したハニワの野焼きや体験工房等を開催し、二子山古墳の歴史的背景を広く市民に紹介する。また、野焼きしたハニワは、ふれあい緑道（ハニワ道）と二子山公園内のハニワの館に設置する。

《開催概要》

開催日 10月22日（土）

場 所 二子山公園

4 「郷土誌かすがい」発行

〔予算額 289千円（対前年度比1.0%増）〕

郷土史研究の発表の場とするとともに、市民が郷土の歴史や文化財に親しめるように発行する。（年1回発行）

5 民俗考古調査

〔予算額 2,694千円（対前年度比23.1%減）〕

(1) 発掘調査、出土遺物・調査資料の整理

区画整理事業等により失われる埋蔵文化財について発掘調査を実施し、出土遺物・調査記録を整理する。また、調査成果をまとめた大留荒子古墳発掘調査報告書を発行する。

(2) 民俗聞き取り調査、資料の収集・整理・保存

年中行事等について聞き取り調査を実施し、調査記録を整理する。また、衣食住及び生業に関する民俗資料を中心に収集し、整理・保存する。

6 指定文化財・郷土芸能保存

〔予算額 3,290千円（対前年度比12.6%減）〕

市内の指定文化財や郷土芸能の保存・保護を図るため、環境整備や保存伝承活動等に対し、補助金を交付する。

7 埋蔵文化財調査

〔予算額 4,536千円（対前年度比12.1%増）〕

(1) 国庫補助による埋蔵文化財の試掘・確認調査及び「概要報告書」の発行

区画整理事業や各種開発行為と埋蔵文化財についての事前調整を図るため、試掘・確認調査を行う。また、調査の概要をまとめ、報告書として発行する。

(2) 国庫補助による埋蔵文化財資料の整理及び保存並びに活用

過去に実施した発掘調査資料を公開・活用できるよう再整理し、あわせて歴史講座や企画展示を行う。

8 文化財継承

〔予算額 582千円（対前年度比10.3%減）〕

(1) 文化財ボランティア育成

市内の貴重な史跡や文化財の保護・啓発を推進するため、文化財ボランティア活動を支援するとともに、文化財ボランティアの養成及び資質向上のため研修を開催する。

(2) 郷土芸能出前講座

地域の郷土芸能保存団体を小学校に招き、郷土芸能を紹介・披露してもらい、団体の指導により児童が練習や発表を行うことで、地域の民俗芸能の担い手を育成する。

(3) 民俗考古展示室 企画展・講座

地域の歴史・文化財に対する市民の関心を高めることを目的に、民俗考古展示室（体験・企画展示室）で企画展示やワークショップ等を開催する。

9 文化財管理

〔予算額 4,220千円（対前年度比6.0%減）〕

二子山古墳を始めとする市内の史跡等の文化財の適切な管理を行う。

10 文化財保護

〔予算額 773千円（対前年度比25.9%増）〕

貴重な史跡や文化財を保護し、次世代へ継承するため、文化財を火災等の災害から守る文化財防火訓練の開催や文化財の説明看板等の修繕を行う。

11 一般管理

〔予算額 3,789千円（対前年度比159.3%増）〕

事務的経費及び愛知県史跡整備市町村協議会分担金

## Ⅸ 野外教育センター

### 【推進目標】

- 東部丘陵の豊かな自然を活用し、市民に親しまれる空間を創出するため、少年自然の家と都市緑化植物園を会場に、「緑と花」をテーマに、それぞれの施設の特性を活かし、幅広い年齢層の方々に楽しんでいただけるフェスティバルを開催し、両施設の一体利用の推進を図る。
- 小中学校の集団宿泊学習などに対する野外活動指導及び少年自然の家事業（指導者養成講座・野外活動振興事業）の充実を図る。
- 市民の緑化意識の高揚、植栽知識の普及などを図り、都市緑化を推進するとともに、自然に恵まれたレクリエーション活動の場を市民に提供するため、緑と花のフェスティバル事業を始め、グリーンピアコンサート・各種講習会・展示会などの充実を図る。

### 1 少年自然の家事業

〔予算額 2,871千円（対前年度5.5%増）〕

#### (1) 指導者養成講習会

少年自然の家の教育目標を達成するためには、優れた指導者の養成が必要である。野外での体験活動、自然に親しむ活動、遊びなど様々な分野で十分な指導ができるよう講習会を開催する。

野外活動・自然体験指導者講座

- ① リーダー（延べ3回）
- ② インストラクター（延べ3回）
- ③ インストラクター更新
- ④ プロジェクト・ワイルド

#### (2) 野外活動振興事業

少年自然の家及び東部丘陵の自然を活用し、幅広い年齢層の市民が四季を通じて自然を体感できる多様な野外・自然体験活動や環境学習の機会を提供する。

- ① 里山体験「田んぼと森の学校」（1泊2日延べ9回）
- ② 冬のファミリーキャンプ（1泊2日）
- ③ 自然学校「里山木こり体験」（1泊2日2回、日帰り1回延べ3回）
- ④ 地域ミライ 防災×キャンプ（1泊2日）
- ⑤ わくわく自然ランド（4回）
- ⑥ あそびむしくらぶ（延べ3回×2・夜4回）
- ⑦ 自然学校「カヌーに乗って湿地探検」（2回）
- ⑧ 築水池カヌー体験（4回）
- ⑨ 大人の里山歩き（7回）
- ⑩ ツキイチ里山歩き隊（延べ10回）
- ⑪ たき火くらぶ（随時）【新規】

公益財団法人春日井市スポーツ・ふれあい財団の事業

- ① 初めて挑戦！アウトドア（1泊2日、3回）
- ② サマーキャンプ2022（説明会1回・4泊5日）
- ③ きらめきキャンプ ホタル&カヌー（1泊2日）
- ④ 全力！Nスポーツ×キャンプ（1泊2日）
- ⑤ 全力！虫とり×キャンプ（1泊2日）
- ⑥ 万葉の花めぐり（2回）
- ⑦ ハチミツしばり体験
- ⑧ トライ！6年生のアウトドアwithフレンズ（1泊2日）【新規】
- ⑨ 夏×自然体験プログラム（随時）ナイトハイク等
- ⑩ 冬×自然体験プログラム（随時）もちつき、バードウォッチング等
- ⑪ 環境教育プログラム（随時）
- ⑫ ネイチャーガイド×トレッキング（随時）
- ⑬ 野外学習夜間プログラム（随時）
- ⑭ 出張自然講座（随時）

(3) 第12回緑と花のフェスティバル（自然の家会場）

開催日：4月29日（金・祝）～5月5日（木・祝）

- ① アウトドアdeピザ&スモーク（2日）
- ② みろくとあそぼう！（1日）
- ③ わくわくチャレンジ☆アウトドア、ツリークライミング体験他（3日）  
里山ガイドハイク（2日）
- ④ スタンプラリー他

(4) 受け入れ指導事業

小中学校の宿泊学習始め子ども会・スポーツ少年団など各種利用団体に、計画の立て方や野外炊事及びクラフトなどの実技並びに自然観察などの野外活動に関する指導を行う。

(5) 機関紙の発行

少年自然の家の活動状況、事業のPR及び自然観察の楽しみ方などを掲載し、各施設に配布して広く市民に周知する。

- ① 自然の家だより：1月、A4判、4ページ
- ② 情報誌やまもも：5月、7月、11月、2月A4判、2ページ

(6) 夏休み野外活動補助事業

夏季期間中の利用団体などに対する野外活動の指導、助言などを行う。

期間：7月21日（木）～8月31日（水）

## 2 少年自然の家小工事

〔予算額 6,400千円（対前年度比83.5%減）〕

設備の老朽化に対応し安全安心で快適な環境整備を進めるため、空調機の更新に向けた実施設計などを行う。

《主な工事等》

- (1) 空調機更新工事実施設計業務委託
- (2) 宿泊棟漏水調査委託
- (3) 細野キャンプ場管理棟解体工事
- (4) 障がい者用トイレ手洗い場設置工事

### 3 少年自然の家管理

〔予算額 58,716千円（対前年度比5.4%減）〕

- (1) 少年自然の家管理
  - ① 施設維持管理業務  
施設利用者が安全かつ快適に利用できるよう、施設維持管理を行う。
  - ② 集団宿泊生活及び野外活動の指導  
小中学校の宿泊、野外学習の指導を実施する。
  - ③ 少年自然の家ホームページ  
施設利用案内のサービスを提供する。

### 4 細野キャンプ場管理

〔予算額 4,083千円（対前年度比6.8%増）〕

- (1) 細野キャンプ場管理
  - ① 施設管理業務  
施設利用者が安全かつ快適に利用できるよう、施設維持管理を行う。

### 5 都市緑化植物園事業

〔予算額 3,871千円（対前年度比7.5%減）〕

- (1) 第12回緑と花のフェスティバル（植物園会場）  
開催日：4月29日（金・祝）～5月5日（木・祝）
  - ① ふれあいミニ動物園
  - ② ポニーに乗ろう
  - ③ ダンボール工作教室
  - ④ キーホルダー作り
  - ⑤ 万葉苑草花めぐり
  - ⑥ nico 2 festa ハンドメイド品販売
  - ⑦ 道風くんの植物クイズ
  - ⑧ two peace ピアノとドラムで時忘れコンサート
  - ⑨ KCジャズオーケストラスプリングコンサート
  - ⑩ 花の詩コンサート
  - ⑪ 天野麻里絵のガーデニング教室
  - ⑫ ヴァイオリンとハーブで奏でるコンサート
  - ⑬ Saxophone Ensemble BULLコンサート
  - ⑭ フードコート
  - ⑮ 小牧小売酒販組合 春日井支部

- ⑯ 寄せ植え教室と花苗・園芸用品の販売
- ⑰ 春日井風土kasugai food
- ⑱ サボテンの販売
- ⑲ 多治見市モザイクタイルワークショップ&物産品販売
- ⑳ ハンギングバスケット展
- ㉑ 野点茶会と琴の演奏
- ㉒ 草木染体験
- ㉓ ガーデニングアイテムの販売
- ㉔ トロピカルフラワーの販売
- ㉕ 養楽福社会弁当・パン販売
- ㉖ オリジナル缶バッジをつくろう！
- ㉗ 間伐材は森の恵み（工作体験）
- ㉘ 野菜苗の販売
- ㉙ 春のミニ盆栽展
- ㉚ 養楽福社会アート作品展
- ㉛ フェスティバル本部
- ㉜ スタンプラリー
- ㉝ 第12回春日井市野外教育センター写生コンクール
- ㉞ サイクルポート

(2) グリーンピアコンサート

- ① 主催コンサート（年19回開催）  
緑と花の休憩所植替えイベント時に開催
- ② 共催コンサート（年60回開催予定）  
市内で活動している団体、グループ、個人の申し出者により開催  
（主にコーラスやギター、オカリナ、キーボード、フラダンス等の  
コンサート）

(3) 植物園講習会・各種教室

- ① 教室、講習会（年61教室90回開催予定）
  - ア 長期継続教室（年2教室26回開催）  
（ボタニカルアート(植物画)教室、デジタル写真教室)
  - イ 園芸教室（年21教室開催）  
（バラの春から夏の栽培管理他）
  - ウ おしゃれ園芸教室（年6回開催）
  - エ 子どもフラワー教室（年5回開催）
  - オ 子ども動物飼育体験（年9回開催）
  - カ 親子教室（年2回開催）
  - キ ハーブの恵み教室（年5回開催）
  - ク 一般教室（年11教室16回開催）

(4) 都市緑化植物園内樹木等管理

- ① 緑と花の休憩所の灌水、園内樹木・草花管理業務
- ② サイクルポート貸出業務（3月～11月）  
※土日祝日のみ実施。

(5) 緑の相談

植物園内「緑の相談所」に相談員2名を配置し、病虫害の防除対策や施肥方法、庭木の剪定の仕方など植物全般に関する市民からの相談業務を行う。

また、月2回（第2、4木曜日）相談員による出前診断を行う。

## 6 都市緑化植物園小工事

〔予算額86,000千円（対前年度比305.7%増）〕

来園者が安心安全な環境で楽しんでもらえるよう、老朽化対策として、緑と花の休憩所改修工事などを行う。

《主な工事等》

- (1) 動物舎飼料室エアコン設置工事
- (2) 動物舎飼料用物置設置工事
- (3) 園内多目的トイレ等改修工事
- (4) 緑と花の休憩所改修工事
  - サッシオペレーター
  - 天井ロールスクリーン
  - 有圧換気扇各所
  - 緑と花の休憩所高所電灯LED化更新工事
  - 休憩所LED化工事
  - 電気設備改修その他工事（自動火災報知設備）
  - 緑と花の休憩所暖房用温水ボイラー更新工事
  - 緑と花の休憩所昇降機改修工事（エレベーター）
  - 緑と花の休憩所第2変電キュービクル更新工事

## 7 都市緑化植物園管理

〔予算額91,023千円（対前年度比0.8%増）〕

(1) 園内維持管理

都市緑化植物園内施設の維持管理を図り、市民に安心安全な環境のもと憩いと潤いのある場を提供する。

《主な内容》

- ① 緑と花の休憩所植替え（年3回）
- ② 緑の相談所他施設維持管理
- ③ 施設設備維持保守点検

(2) 動物ふれあい広場運営管理

市民の動物愛護精神を涵養し、命の大切さを学んでもらうよう、施設運営を行う。

《主な内容》

- ① ポニー2頭始め23品種144頭数を飼育（令和4年2月28日時点）

② 動物ふれあい体験の実施

ア 鳥舎ウォークスルー

イ ポニーに乗ろう

ウ ウサギ・モルモットとのふれあい

(3) 植物園 展示会

展示会（年21回開催予定）